

SDE-3000EVHには、ステレオ仕様に拡張された2基のデジタルディレイ（SDE-3000）が搭載されています。DIGITAL DELAY 1（DDL1）／DIGITAL DELAY 2（DDL2）

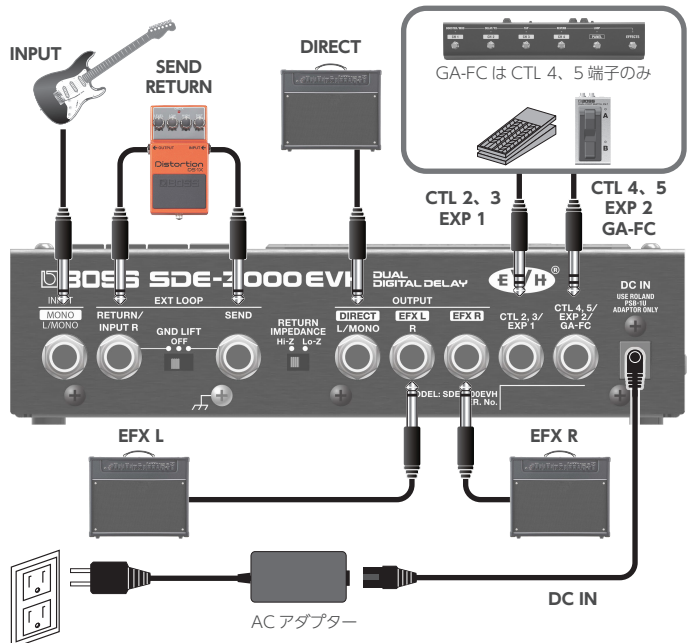
本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に別紙の「安全上のご注意」と「使用上のご注意」をよくご覧ください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

機器の接続（リア・パネル／サイド・パネル）

- ※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。
- ※ その他の接続方法や接続図については、『SDE-3000EVH プレイヤーズ・ガイド』をご覧ください。

DIRECT OUT + STEREO OUT（工場出荷時の設定）

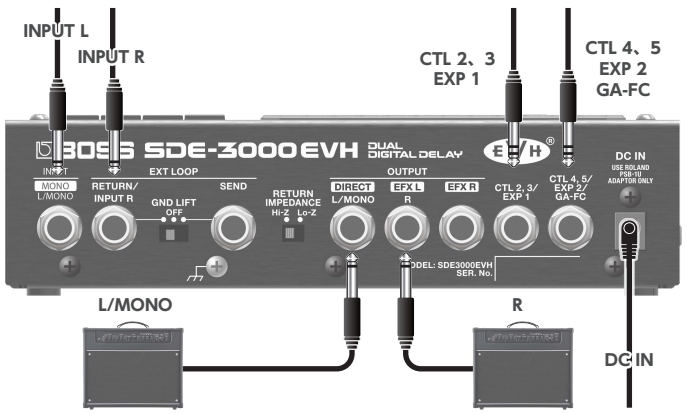
DIRECT 端子からはディレイがかからないダイレクト音、EFX L、EFX R 端子からエフェクト音がステレオ出力されます。



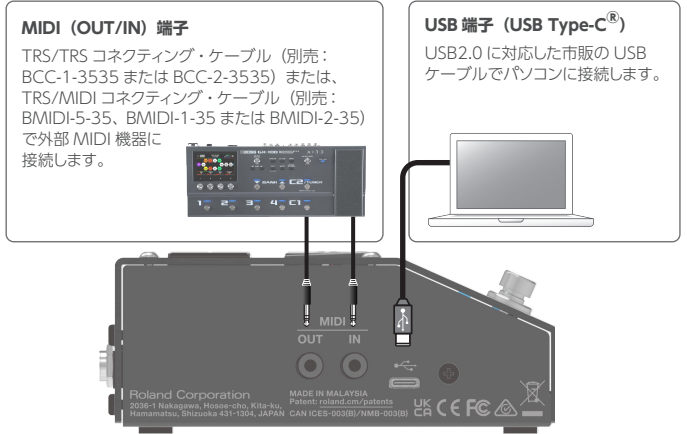
STEREO IN/OUT

ステレオで入力して、ダイレクト音とエフェクト音がミックスして出力されます。

- ➔ インプット／アウトプット設定の変更については、「本機の設定をする（SETUP）」をご覧ください。



- ※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。
- ※ 外部アースまたは大地に接地します。必要に応じて接続してください。



- ※ 充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

電源を入れる

- ※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

1. DC IN 端子に AC アダプターを接続します。
本機の電源が入ります。
2. 接続した機器 → ギター・アンプの順で、電源を入れます。
 - ※ 電源を切るときは、電源を入れるときと逆の順序で操作します。
 - ※ 電源が切れると保存していないデータは失われます。残しておきたいデータはあらかじめ保存しておいてください。
 - ※ 電源をオフにしたときのバンクとメモリー番号を記憶し、次に電源をオンにするときに呼び出します。

プレイ・モード

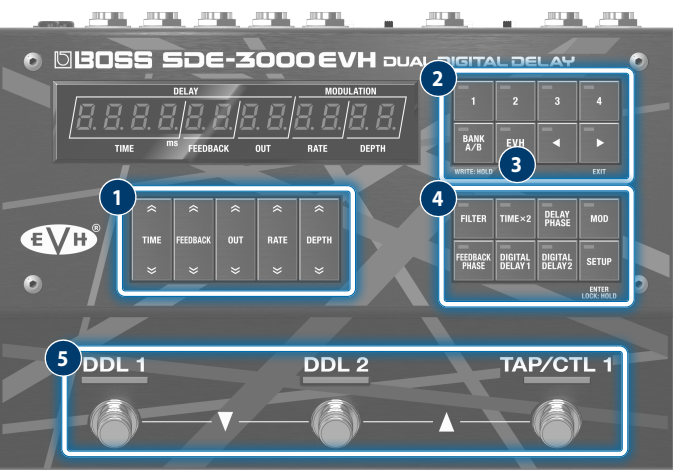
電源投入後の演奏可能な状態を「プレイ・モード」と呼びます。ディスプレイには TIME/FEEDBACK/OUT/RATE/DEPTH の値が表示され、選ばれているバンクとメモリー番号に応じてインジケータが点灯します。



プレイ・モードで [◀] [▶] ボタンを押すと、表示を切り替えることができます。

表示	説明
パラメーター	設定値を表示します。 バンク／メモリーを切り替えるときは、一時的にバンクとメモリー番号を表示します。
バンク／メモリー	バンクとメモリー番号を表示します。

基本操作（トップ・パネル）



エリア	操作子／説明						
1 コントロール	[TIME] ボタン：ディレイ・タイムを調節します。 [FEEDBACK] ボタン：ディレイ・フィードバック・レベルを調節します。「0」でシンブル・ディレイになります。 [OUT] ボタン：ディレイ音の出力レベルを調節します。 [RATE] ボタン：ディレイ・モジュレーションの揺れの周期を調節します。 [DEPTH] ボタン：ディレイ・モジュレーションの深さを調節します。「0」でモジュレーションがオフになります。 メモ 各ボタンを長押しすると、急速に変化させることができます。						
2 メモリー	[1] ～ [4] ボタン：メモリーを選びます。 [BANK A/B] ボタン：メモリー・バンク A（赤点灯）／B（緑点灯）を切り替えます。						
3 [EVH] ボタン	EVH（エディ・ヴァン・ヘイレン）ボタンを押すと、定番の設定を呼び出すことができます。 [EVH] ボタン：EVH1 ～ 4（赤点灯）／EVH 5 ～ 8（緑点灯）を切り替えます。 ※ 詳細設定は表示されません。また、エディットや保存もできません。 ※ [OUT] ボタンのみ操作可能です。						
4 ディレイの設定	[FILTER] ボタン：ディレイ・フィルター。エコーとして、使用しているとき、自然な効果が得られます。 [TIME × 2] ボタン：ディレイ・レンジを切り替えます。 <table><tr><th colspan="2">ディレイ・タイム</th></tr><tr><td>オフ（×1）</td><td>0 ～ 1500ms</td></tr><tr><td>オン（×2）</td><td>0 ～ 3000ms</td></tr></table> [DELAY PHASE] ボタン：ディレイ音の位相を反転させます。 [MOD] ボタン：モジュレーションをオン／オフします。 [FEEDBACK PHASE] ボタン：ディレイ音のフィードバックの位相を反転させます。 [DIGITAL DELAY 1] ボタン（DDL1）／[DIGITAL DELAY 2] ボタン（DDL2）：DDL1 と DDL2 のパラメーター表示を切りかえます。 [SETUP] ボタン：システム・パラメーターを設定します。また、ボタンの長押しでロックのオン／オフができます。ロック中は他のボタン操作が無効になります。	ディレイ・タイム		オフ（×1）	0 ～ 1500ms	オン（×2）	0 ～ 3000ms
ディレイ・タイム							
オフ（×1）	0 ～ 1500ms						
オン（×2）	0 ～ 3000ms						
5 スイッチ	[DDL 1] スイッチ／[DDL 2] スイッチ：DIGITAL DELAY 1/2 をオン／オフします。 [DDL 1] スイッチと [DDL 2] スイッチを同時に押すと、ひとつ前のメモリーを選びます。 [TAP/CTL 1] スイッチ：スイッチを押す間隔でディレイ・タイムが設定できます。また、SETUP でアサインされた機能を使うこともできます。 [DDL 2] スイッチと [TAP/CTL 1] スイッチを同時に押すと、次のメモリーを選びます。						

本機の設定をする（SETUP）

システム・パラメーターを設定します。
ここでは、IN/OUT 設定の変えかたを例に説明します。

1. [SETUP] ボタンを押します。



ディスプレイに設定項目が表示されます。



2. [SETUP]（ENTER）ボタンを押します。

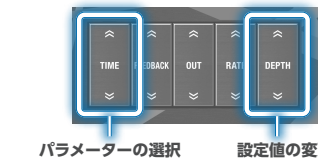
ディスプレイに「in」と表示されます。



メモ

その他の設定項目は、[TIME] ボタンを押して選びます。
詳しくは、『リファレンス・マニュアル』（Web）をご覧ください。

3. [DEPTH] ボタンで設定値を変更します。



パラメーター	設定値／説明
[TIME] ボタン	[DEPTH] ボタン
in (Input Setting)	None (MONO)：INPUT L/MONO 端子から入力します。 StErEo (STEREO)：INPUT L/MONO 端子と RETURN/INPUT R 端子からステレオで入力します。

メモ

in (Input Setting) が None (MONO) のときに、Send/Return 経路が有効になります。

4. 設定を終了するときは、[▶]（EXIT）ボタンを数回押してプレイ・モードに戻ります。

メモリーを保存する（WRITE）

1. [BANK A/B]（WRITE）ボタンを長押しします。
ライト・メニューが表示されます。
2. [SETUP]（ENTER）ボタンを押します。
3. 書き込み先を変更するときは [DEPTH] ボタンでメモリー番号を選びます。
中止するときは、[▶]（EXIT）ボタンを押して、ライト・メニューに戻ります。
4. [BANK A/B]（WRITE）ボタンを押して、メモリーを保存します。
保存が完了すると、書き込み先のメモリーに変わり、プレイ・モードに戻ります。

ゴム足の取り付け

ゴム足（付属）は、必要に応じて取り付けてください。

ゴム足は図の位置に貼り付けます。

- ※ ゴム足を取り付けないまま本機を使用すると、床を傷付ける恐れがあります。
- ※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

